

令和元年度 特別養護老人ホーム白滝荘 事業報告書

1 運営方針について

特別養護老人ホーム 白滝荘は、令和2年には創立45年目を迎え、「和氣笑顔」を施設の運営方針として、入所者及び利用者と職員が馴染みの関係を築き、穏やかで心の通う温かみのある施設を目指して来た。しかし、介護職員不足のため、介護の集約化と職員の負担軽減を図る為、施設内を一部閉鎖し、特養と短期入所の再編成を昨年度に引き続き今年度も行った。

また、地域貢献としては、例年通り、地域の行事に職員を派遣したり、施設開放を行った。昨年夏の集中豪雨の際には、グループホームそまじの入所者を一晩受け入れ、災害の際には法人の垣根を超えた協力体制の必要性を痛感した。

2 事業目標評価について

生活援助介護係、1番館は、外出支援やレクリエーション等、特別な事を実施する事は難しかったが、基本的な介護をする際、出来るだけ丁寧に関わることが出来ていたと思う。職員不足の為、勤務変更も多かったが、職員間で助け合い、意見や提案を声に出し合いながら、良い雰囲気で行う事が出来た。

2番館は、業務の忙しさを理由に、気持ちにゆとりがなく、入所者や利用者を思いやる気持ちが不足していた。また、職員サイドの声掛けやケアに偏り、入所者や利用者の思いに沿ったケアが出来なかった。

次に、生活援助看護係は、年間を通して人員不足の為、時間に余裕がなくゆっくりと入所者や利用者に関わることが出来なかった。また、業務に追われ、他部署との連携が取れていない事が多々あった。

次に、機能訓練指導員は介護職員と一緒に生活リハビリを実施し、ケアプランの短期目標、長期目標に沿った機能訓練を行った。

次に、介護支援専門員は、計画したケアプランが実行出来ているか、番館に出向き、実行状況を確認した。また、ケアプランが実行出来ない場合はその理由を探り、必要時はケアプランの変更を行った。

次に、給食調理係は、看護・介護職員の協力を得て入所者の状態把握を行い、最適な食事形態で提供するよう心掛けた。また、季節感を感じて頂けるように季節の食材を取り入れたり、食べ易さを考え加工食材を活用する等、献立や食べ易さの工夫に努めた。

次に、生活相談係は、楽しみのある生活を送って頂けるように、季節に応じて様々な行事を企画し、入所者及び利用者を楽しみのある生活を送って頂けるように支援した。また、ご家族からの要望に関しては、迅速に対応し、ご家族の思いをくみ取るよう心掛けた。

次に、総務係は、業務の正確化に留意し、収支の推移を見ながら経費節減に取り組み、経営の効率化に努めた。来荘者に対し気持ちの良い挨拶を行ない、接遇マナー向上に努めた。

3 その他

(1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開催日	出席者
運営会議	施設全体の方向性の確認、行事の確認等	毎月1回	施設長、生活課長、居宅管理者、総務主任、生活相談員
調整会議	施設全体の方向性の確認	2月	施設長、生活課長、介護・医務・栄養士等、介護支援専門員、生活相談員
リーダー会議	各部署からの連絡、確認	毎月1回	生活課長、介護・医務・栄養士等、介護支援専門員、生活相談員
職員会議	主な研修報告、施設内研修、事務連絡等	4, 6, 8, 10, 12, 2月	全職員対象
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12月	第三者委員代表、理事長、施設長、介護支援専門員、看護師、介護福祉士
サービス担当者会議	ケアプランの確認	随時	生活課長、介護支援専門員、看護師、機能訓練指導員、介護職員
番館会議	入所者のケアについて	月1回	介護職員
各種委員会	感染症対策委員会	偶数月第1金曜	生活課長、栄養士、生活相談員、看護職員・介護職員の代表者
	褥瘡予防委員会		
	事故予防委員会	奇数月第1金曜	生活課長、生活相談員、看護職員・介護職員の代表者
	身体拘束委員会		
喀痰吸引等の安全委員会			

感染症について

11月、入所者の予防接種直後、施設内でインフルエンザが流行し、入所者数名が罹患した。対応策としては、罹患者の隔離対応や、面会の全面的な制限、施設内のアルコール対応を行った結果、12月初旬には収束が見られ、面会制限の解除を行った。しかし、その後も御家族が面会される際にはアルコール消毒、マスクの徹底を呼び掛けた。

2月、町内のデイサービスで疥癬が流行し、短期入所利用者の中にも湿疹が見られる方がおられ、受診はしたものの疥癬の診断がつかない利用者が数名おられた。その利用者には疥癬と診断がついた事として対応し、全身状態の観察、衣類の熱湯消毒の実施、寝具の清掃を行い、施設内の流行は見られなかった。

3月、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、面会の全面的な制限の実施、また短期入所利用者には、自宅での検温と入所時の検温のダブルチェックを行ってから利用して頂いていた。また、勤務する職員も始業前に検温を実施し、入所者も医務職員が毎日検温し体調不良者の早期発見に努めた。また介護職員にはアルコール消毒ボトルを業務中に携帯してもらい、感染拡大の防止に努めた。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関 連 行 事	ボランティア
4	花見 山口県議会議員選挙不在者 投票		
5	荘外散歩(1番館…長府庭 園、2番館…ゆめシティ) 夜勤職員健康診断		
6	豊北高校文化祭参加 家族会 市老協協ボーリング大会	入所検討委員会	田耕振興草刈り作業
7	そうめん流し 参議院議員選挙不在者投票		
8	田耕地区夏祭り参加	消火避難訓練	
9	敬老会 彼岸法要	入所検討委員会	妙久寺ボランティア
10		入所者結核検診 消火避難訓練	邦西組仏教婦人会ボラ ンティア
11	田耕ふれあい祭り	入所者予防接種 豊北高校出前介護技術講習 職員検診(職員) ストレスチェック	
12	餅つき	入所検討委員会 避難訓練	
1	元日行事、初詣		
2	豆まき	避難訓練 産業医巡回	
3			
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・法話(5回)・美容の日(第2月曜・1,500円)・絆会(毎月第1,3月曜) ・お話の会(偶数月第3月曜)・豊北高校実習(6~11月毎週木曜日) ・喫茶開設(毎月第1火曜、第3金曜)・お茶会ボラ(毎月第1月曜日) ・生け花ボラ(毎月第2火曜)・さくらサロン、しあわせサロン(第1,3木曜日) 		

(3) 職員数と令和元年度中における異動（令和2年3月31日現在）

区分 職種		現員 (人)	令和元年度中における異動			
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)
正職員	施設長	1				
	事務職員	2				
	生活相談員	1				
	介護職員	17	1		2	2
	介護支援専門員	1				
	看護職員	3		2	2	
	管理栄養士	1				
	栄養士	1				
	調理員	2				
常勤職員	介護職員	5	1	1	1	
	看護職員	1				1
	機能訓練指導員	1				
	調理員	3				1
非常勤職員	介護職員	10	1	1		
	看護職員	3				
	調理員	2	3	1	1	
	介護補助員	3	1	1		
	宿日直員	3		3		
	嘱託医師	1				
	合計	61	7	9	6	4

(4) 主な帳簿

種 別	記録事項
業務日誌	業務全般に関わる記録
介護職員日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入居者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入居者の日々の記録
看護職員日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
調理職員日誌	調理に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの

(5) 実績

本入所(定員 60 名として計算)

延べ人数 (日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実績	1,367	1,398	1,298	1,411	1,503	1,441	1,433	1,412	1,399	1,349	1,171	1,317	16,499
	利用率	75.9	75.1	72.1	75.8	80.8	80.0	77.0	78.4	75.2	72.5	67.2	70.8	75.1
平成30年度	実績	1,438	1,505	1,422	1,520	1,494	1,453	1,480	1,373	1,422	1,409	1,296	1,397	17,209
	利用率	79.8	80.9	79.0	81.7	80.3	80.7	79.5	76.2	76.4	75.7	77.1	75.1	78.5

昨年度 1 年間で 16 名の退所があった。性別の内訳としては、男性 4 名、女性 12 名となっている。また、退所理由については、医療機関に長期入院のためが 4 名、死亡原因が老衰のためが 2 名、病気による死亡が 9 名、在宅復帰が 1 名となっている
平均介護度は、平成 30 年度より 0.2 ポイント下がり 3.9 だった。

ショートステイ (定員 19 名として計算)

延べ人数 (日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実績	191	226	188	197	179	197	217	171	219	234	157	198	2,374
	利用率	33.5	38.3	32.9	33.4	30.3	34.5	36.8	30.0	37.1	39.7	28.4	33.6	34.1
平成30年度	実績	276	256	251	247	270	263	238	188	212	191	176	232	2,800
	利用率	48.4	43.4	44.0	41.9	45.8	46.1	40.4	32.9	35.9	32.4	33.0	39.3	40.3

11 月は施設の入所者がインフルエンザに罹患した為、利用を断る短期入所利用者が数名おられ、その結果、利用率の低下に繋がった。また 2 月も町内のデイサービスで疥癬が流行し、疥癬と診断を受けた利用者数名が利用を控えた為、利用率の低下が見られた。

今年度から、短期入所を 1 番館、2 番館、それぞれに配置し、職員の不公平感の解消に努めた。

(6) 本入所の状況 (令和2年3月31日現在)

地域別	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	令和元年度の入退所者		
				入所 (人)	退所 (人)	差異 (人)
豊北町	4	30	34	9	13	-4
豊浦町	0	2	2	0	2	-2
豊田町	0	5	5	1	1	0
その他	0	2	2	0	0	0
合 計	4	39	43	10	16	-6

年齢別	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)	最高年齢 男 87 歳 女 100 歳 最少年齢 男 68 歳 女 56 歳 性別平均年齢 男 81.7 歳 女 86.5 歳 平均年齢 86.0 歳
～70 歳	1	3	4	9.0	
71～80 歳	0	3	3	7.0	
81～90 歳	3	12	15	35.0	
91～100 歳	0	21	21	49.0	
101 歳～	0	0	0	0.0	
合 計	4	39	43	100.0	

区 分	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)	
食 事	自 立	2	16	18	42.0
	一部介助	1	7	8	19.0
	全面介助	1	16	17	39.0
排 泄	自 立	0	0	0	0.0
	一部介助	1	14	15	35.0
	全面介助	3	25	28	65.0
入 浴	一般浴	1	2	3	7.0
	特殊浴	3	37	40	93.0

食事、排泄に関して、全面介助の比率が下がり、一部介助の割合が上がっている。入浴に関しても、一般浴で入浴される入所者は 10%を切り、特殊浴槽の入所者が大多数になった。

(7) 平均栄養量及び給食単価

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの平均栄養量及 び給食単価	令和元年度実績	1,454kcal	経口	723円
		900kcal	経管	728円
	平成30年度実績	1,467kcal	経口	720円
		900kcal	経管	831円

(8) 下関市要介護認定調査業務(下関市委託業務)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
H30	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	4

(9) 施設外研修

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	栄 養 士	調 理 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員
認定調査員研修	4/23								1	
老施協 施設長研修	5/16	1								
持ち上げない介護、抱え上げない 介護	6/7	1		1	1					
リスクマネジメント研修	6/21			1						
福祉施設給食担当職員研修	6/27							1		
介護支援専門員 更新研修Ⅱ 7/10、8/24、9/21、10/2、10/21	—	1								
介護セミナー	8/6	1								
老施協 経営セミナー	8/9	1								
ノーリフティング研修	10/29				3					
年末調整説明会	11/20		1							
源泉徴収事務研修会	12/5		1							
看取り研修会	2/14			1						
介護現場改善研修会	2/21				1					